

# ステレオイメージャー

ステレオイメージャーとは？

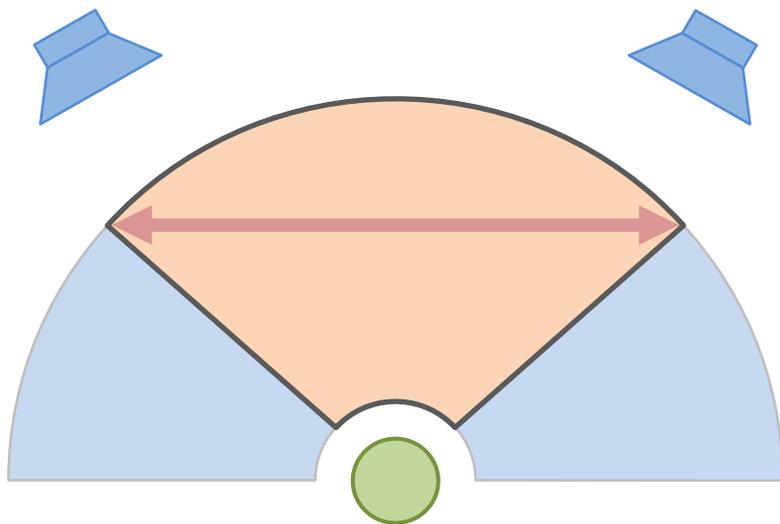
音像をコントロールするエフェクター

音像とは

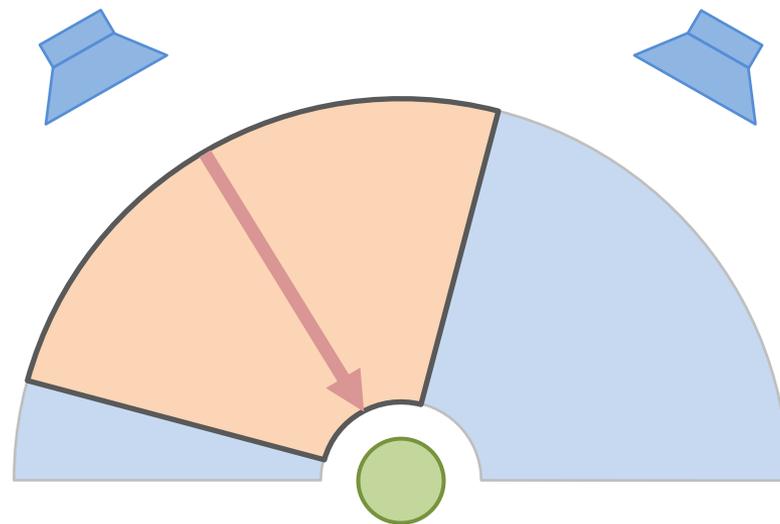
音の「広がり」  
音の「聴こえる方向」  
音の「距離感」などの総称

# ステレオイメージャーでコントロールできるもの

音の広がり具合



聴こえる方向

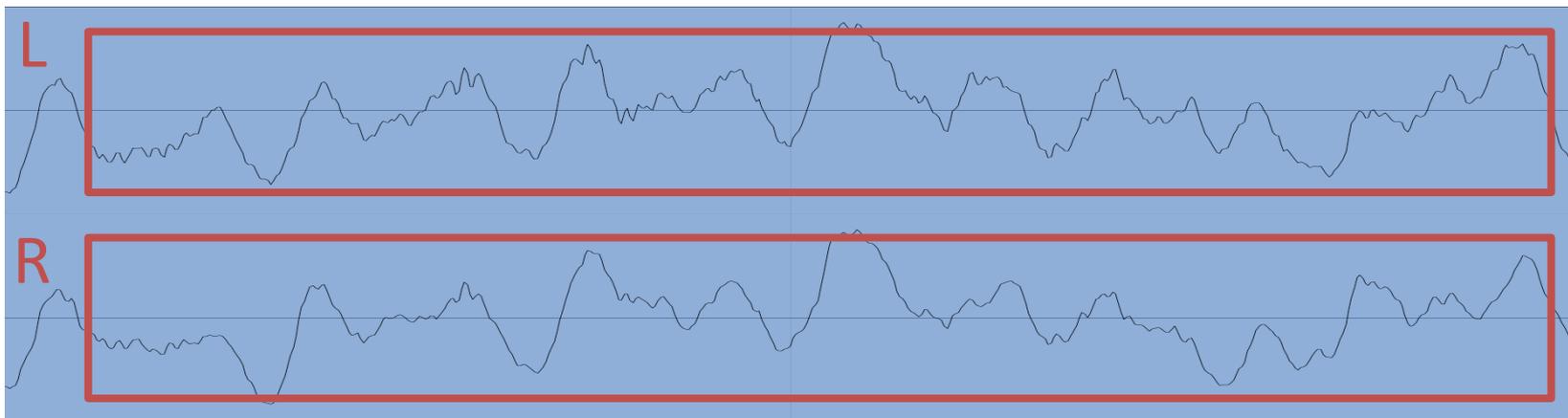


いずれもステレオ音源のみ有効

## ステレオ音源とは

ステレオは左チャンネル(Lch)と右チャンネル(Rch)の2chが存在する。

LRそれぞれのチャンネルから再生される音の微妙な差によって音の広がりを感ずることができる。



## ステレオイメージャーが使われるケース

1. 広がりすぎた音像を狭める
2. 広がりを強調する
3. セクション全体の定位と広がりを調整する

# 各種パラメータ

- ① ウィドウス (Width)
- ② ローテーション (Rotation)
- ③ アシンメトリー (Asymmetry)

## ウィドウス (Width)

音の広がり具合を調整するパラメータ

数値が大きいほど音像が広がり  
小さいほど音像が狭くなります。

最低値では左右のチャンネルに差がなくなり  
実質モノラル状態になるので注意！

ステレオイメージャーの最も基本的なパラメータ

## ローテーション (Rotation)

音像の中心位置を調整するパラメータ

広がりの中心 (= 音のセンター) を

左右に振ることができ

パナーのような使い方をすることができる。

ステレオイメージャーによっては

搭載されていない機能なので注意しましょう。

# アシンメトリー (Asymmetry)

音像の偏りを調整するパラメータ

中心より右側は広く、左側は狭く、など  
細かい調整を行うことができる。

パナーだけでは実現が難しい  
イメージャーならではの音像を作ることができる。